


JSIAにおける物流の適正化・生産性向上に向けた自主行動計画（工程表）

JSIAは、物流の2024年問題改善に向けて、工業会として積極的に取り組んでいく。
2023年度の調査結果をベースに、2024-2025年度は会員各社が個々に努力し、2026年度に改めて実態調査を行う。

取組事項		2023	2024	2025	2026	2027	2028	ありたい姿
ガイドラインに基づく取組	1-1. 荷待ち時間・荷役作業等にかかる時間の把握について 68%/72%	実態調査①	入荷、出荷時の荷待ち・荷役作業等時間を把握する	実態調査②	取組毎に課題抽出 PDCA		入荷・出荷の荷待ち時間及び荷役時間等にかかる時間が把握出来ている。	
	1-2. 荷待ち・荷役作業等時間2時間以内ルールについて 62%		荷待ち・荷役作業等時間を削減し、2時間以内を目指す					荷待ち、荷役作業等（荷積み・荷卸し・附帯業務）の2時間ルールが守られている。
	1-3. 物流管理統括者の選定について 41%		原則、役員または工場長を統括者にアサインする					物流管理統括者を選任している。 ex.工場長
	1-4. 物流の改善提案と協力について 63%		定期的に、物流業者との話し合いの場を持つ					物流に過度な負担をかけているものがないか検討し、改善出来ている。
	1-5. 運送契約の書面化について 68%		原則、運送契約を口頭で行わない					運送契約は書面又はメール等の電磁的方法を原則としている。
	1-6. 荷役作業等に係る対価について 88%		原則、対価の支払い応じる					当該荷役作業等に係る適正な料金を対価として支払っている。
	1-7. 運賃と料金の別建て契約について 48%		原則、別建ての契約を進める					運送の対価である「運賃」と運送以外の役務等の対価である「料金」を別建てで契約することを原則としている。

JSIAにおける物流の適正化・生産性向上に向けた自主行動計画（工程表）

取組事項		2023	2024	2025	2026	2027	2028	ありたい姿
ガイドラインに基づく取組	1-8. 燃料サーチャージの導入・燃料費等の上昇分の価格への反映について 86%		原則、別建ての契約を進める					燃料費等の上昇分や高速道路料金等の実費を運賃・料金に適切に転嫁している。
	1-9. 下請取引の適正化について 66%		多重下請が発生しないよう元請物流業者とよく話し合う					特段の事情なく多重下請による運送が発生しないよう留意している。
	1-10. 異常気象時等の運行の中止・中断等について 86%	実態調査①	運送出来ない状況を客先に伝え、到着日時の変更を行う		実態調査②	取組毎に課題抽出 PDCA		異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運送依頼を行わない。
	2-1. 出荷に合わせた生産・荷造り等について 89%		荷姿（CAD）の事前提示など荷役の短縮に努める				出荷時の順序や荷姿を想定した生産・荷造り等を行い、荷役時間を短縮している。	
	2-2. 運送を考慮した出荷予定時刻の設定について 77%		出荷前日に場所・時間を連絡し、時間的な余裕の確保に努める					トラック運転者が輸配送先まで適切に休憩を取り運行が可能なスケジュールで出荷予定時刻を設定している。
	3-1. 納品リードタイムの確保について 66%		時間的な余裕を持った発注に努める					発注から納品までの納品リードタイムを十分に確保します。納品リードタイムを短くせざるを得ない特別な事情がある場合には、自ら輸送手段を確保する（引取物流）等により、物流負荷の軽減に取り組んでいる。